

人間関係講座（コミュニケーション）第103回 [秋]

-グループの中での人間関係の理解のために- 基礎コース

担当者	森泉 哲（南山大学国際教養学部教授） 坂中 正義（南山大学人文学部教授）
概要	<p>この講座は、「体験学習」という方法を用いて、楽しく参加しながら人間関係の主要領域についての理論と実際を同時に学びます。更に人間関係に関して自分自身の在り方に気づき、成長の手がかりを握み実践していくことを目指しています。ここでは、特に“自己理解と対人コミュニケーション”に焦点を当てて進めていきます。</p> <p>この講座を学ぶねらいは以下の3つの分野です。</p> <ol style="list-style-type: none">① 自分自身の価値観・感情・興味など、自己理解を深めること② 話したり聴いたりする時の自分の特徴に気づき、話す・聴くというコミュニケーション能力を高めること③ 対人関係における感情の重要性に気づき、感情表現の多様性と幅を広げる <p>ご自分についてより深く知りたいという方、日常や仕事上でのコミュニケーションで相手の話をよりよく聴けるようになりたいという方など、さまざまな方にお勧めです。</p> <p>【プログラムの内容（予定）】</p> <p>小講義「コンテンツとプロセス」「体験学習のサイクル」「コミュニケーション・モデル」など コミュニケーション実習（実習「聴く」等）とふりかえり ノンバーバル・コミュニケーション実習（実習「セルフバッグ」等）とふりかえり 個人の気づきの実習（価値観明確化の実習等）</p>
日程	2016年10月29日（土） 10：00～18：00 10月30日（日） 9：00～17：00 土日集中
定員	各36名
会場	南山大学 D棟 D51教室
受講料	11,200円（税込）
メルマガ講座報告	<p style="text-align: right;">担当講師 坂中 正義 記</p> <p>10/29-30の2日間を使って、103回人間関係講座（コミュニケーション）が行われました。北海道から大阪までの幅広い地域から24名の参加者が集い、2日間を無事終了することができました。この報告は参加者の皆さんが帰られた後、その余韻に浸りながら書いております。</p> <p>非常に熱心に実習に取り組まれ、ふりかえりやシェアリングも丁寧になさる方が多かったことが思いだされます。それらの時間を切ることがもったいないような、申しわけないような感じがする、そんな充実した時間だったようにも思っています。</p> <p>担当者といたしましてもメンバーの力に支えられ、リラックスし、また、やりがいを感じつつ、2日間を過ごせたなあとありがたく思っています。</p> <p>晴天にめぐまれ、すがすがしい空気の会場。ねらいの作品が壁に貼られ、実習を重ねるにつれ、会場が私たち色に染まっていく感じが、なんとも心地よく、終了後、会場を片付ける時には、ちょっとした寂しさを感じるころもありました。</p> <p>終始、相互に理解しようとする関心を持ち、温かく受容的な雰囲気が場を満たしていたように思いましたが、そのことそこがまさに「プロセス」で、その上での第103回「人間関係講座（コミュニケーション）[秋]という「コンテンツ」が充実したといえるのではないかなと思っています。</p> <p>体験はその時みえることもあれば、後で意味がみえてきたり、深まったりするものでもあります。参加者皆さんの体験もその時の体験としてだけでなく、その体験をそのまま温め、時熟の力を借りながら、意味の深まりや変化が起きてくるといいなと願いながら、講座報告とさせていただきます。参加者の皆さん、おつかれさまでした。そして、ありがとうございました。</p>